

福祉の心を私たちの活動の原点として

御幸西第一地区民生委員児童委員協議会（川崎市幸区）

川崎市幸区は、207名の民生委員児童委員（以下、委員）で地域の見守り活動を行っています。

区の現状は、65歳以上の高齢者が3万7千人で、高齢化率は約25%です。工場の跡地に建設されたマンション群と従来からの戸建家屋が混在している地域です。

各地区民生委員児童委員協議会（以下、民児協）は、子育て支援活動も活発に行っており、高齢者だけでなく、子育てが安心してできる地域といえます。

御幸西第一地区民児協では、下平間老人いこいの家で「パンビひろば」という活動をしています。そこでは、乳幼児が委員と遊び、



「塚越の陽だまり」の節分。鬼に扮した町内会の役員めがけ、カラーボールを豆の代わりに投げて鬼を追い払う



幸区民祭ではお揃いのベストを着て「花咲く郷土」を歌い、委員活動をPR

5月12日は
民生委員児童委員の日

民生委員制度の始まりは、第一次世界大戦末期、大正6（1917）年5月12日に防貧対策として岡山済世顧問設置規定が公布されたことに由来するものです。
全国民生委員児童委員連合会では、この日を記念して、5月12日を民生委員・児童委員の日と定め、5月12日から18日までの1週間を地域のみなさんに活動を知っていただくための強化週間として取り組みを進めています。

親同士は会話を楽しむなど、家庭とは異なる世代、相手との交流を楽しみます。また、保健師や、市立保育園の先生に子育てに関する悩み事を相談したり、助言を得たりする場にもなっており、毎回多くの親子が参加しています。
御幸西地区社協が運営する、誰でも気軽に利用できる交流スペース「塚越の陽だまり」の運営にも協力しています。高齢者がお茶を飲んでいる中で赤ちゃんがハイハイし、小学生が宿題をして過ごすなど、世代関係なく自然と声掛けができる場となっています。
私たち委員は、地域社会の中で生活上の支援や助言が必要な方に

隣人愛と誠意を持って接し、幸せな生活が送れるように手助けをしています。そのために私たち自身も人格と識見を高め、明朗で健全な地域社会づくりに貢献できるように努めています。これが委員の「福祉の心」だと考え、これからも大切にしていきたいと思えます。
今年も民生委員制度創設100周年を迎えます。その記念行事として、市民児協では、5月23日に川崎市ミュージアム川崎シンフォニーホールで100周年記念式典を行います。1,900席はご来賓の方々と新旧の委員で満席になる予定です。荘厳なパイプオルガンの演奏で民生委員の歌「花咲く郷土」を歌うのが楽しみです。
（御幸西第一地区民生委員児童委員協議会）

採用には採用の
ホームページが必要です！

採用を強化するには、自社ホームページだけでなく、採用ホームページが必要です。お気軽にご相談ください。リクルートOBのスタッフが制作した事例をご用意しております。

全国社会福祉協議会様 <http://shakyo-hyouka.net/>
神奈川県社会福祉協議会様 <http://www.knsyk.jp/>

ホームページを
弊社で制作
いたしました！



TEL 045-650-1355

MAIL info3@directorsclub.co.jp

担当 東海林

株式会社ディレクターズクラブ 横浜市中区山下町1番地 シルクセンター9階

<http://www.directorsclub.co.jp/form.html>

「福祉タイムズ」は、赤い羽根共同募金の配分を受けて発行しています